

平成 28 年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」 における大桐中学校の結果の分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成 28 年 4 月から 7 月末までの期間に、2 年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

1 調査の目的（全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領より抜粋）

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の中学校第2学年、中等教育学校第2学年、特別支援学校中学部第2学年の原則として全生徒
- ・大桐中学校では、2年生 160名

3 調査内容

- ・生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（以下、「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）
中学校調査では、以下の種目を実施する。

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走、20mシャトルラン、
50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ（※持久走か20mシャトルラン
のどちらかを選択）

イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「生徒質問紙調査」という。）
を実施する。

平成28年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大阪市立大桐中学校

生徒数

160

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	28.14	26.04	38.95	49.88		74.32	8.47	189.31	20.42	37.73
大阪市	29.29	27.51	40.96	51.76	411.55	83.43	8.09	191.49	20.42	41.25
全国	28.91	27.46	43.06	51.93	391.72	86.24	8.03	194.69	20.59	42.13
女子	23.41	22.53	42.87	46.74		54.92	9.28	160.16	13.36	46.53
大阪市	24.15	23.41	44.39	46.77	303.34	57.97	8.92	167.47	12.97	49.20
全国	23.75	23.48	45.46	46.60	288.51	58.80	8.83	168.28	12.85	49.56

結果の概要

男子は全体的に全国・大阪市を下回る結果になった。

女子は全国的に下回っているもののハンドボール投げのみ上回っている。

アンケート調査では、食習慣の乱れや睡眠不足により、生活リズムが崩れ体力の低下につながっているとも考えられる。

全体的に運動は大切だと感じている生徒は多いが、進んで運動を行っている生徒は少ない。

「保健体育の授業では友達と助け合ったり役割を果たすような活動を行っていますか。」という質問に対して、大阪市の平均に比べて16.1ポイント上回る結果となった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

女子のハンドボール投げに関しては全国・大阪市の平均をともに上回っているので維持していくたい。

男女とも授業の初めに体力向上のため、筋力トレーニングを取り入れているが、結果につながっていないのが現状である。授業内での運動量の確保や強度を見直していきたい。

運動が苦手な生徒も多くいるが、協同学習を通じ、友達と助け合い、教え合いながら取り組むことができた。今後さらに、仲間と共に運動することの楽しさや協力して得る達成感を味わえる授業展開をしていきたい。

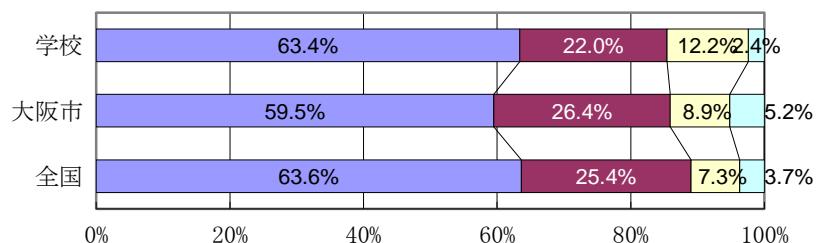
生活習慣に関して、睡眠不足や食習慣の乱れは深刻であり、改善が必要であるといえる。保健体育の授業で食生活、休養・睡眠の大切さなど必要な知識を習得させ、改善していきたい。

運動やスポーツについて（男子）

質問番号	質問事項
------	------

1

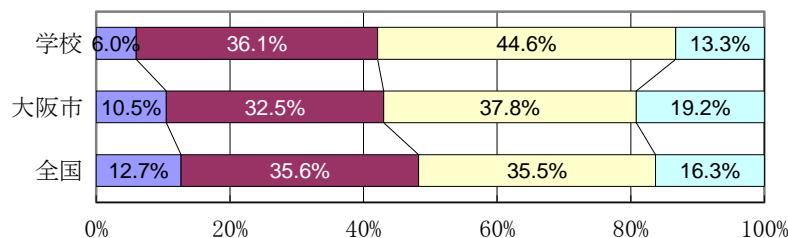
運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか



■好き
■やや好き
□やややきらい
□キライ

2

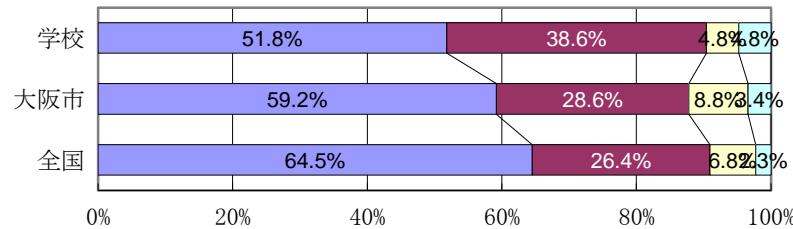
自分の体力に自信がありますか



■好き
■やや好き
□やややきらい
□キライ

3

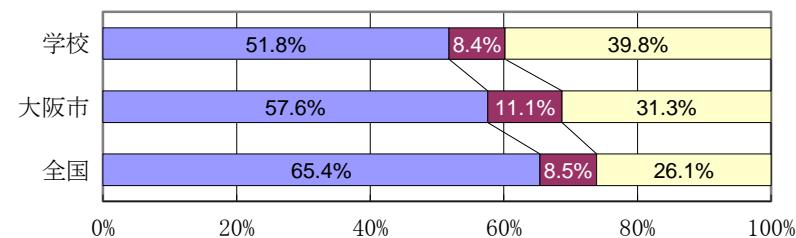
あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切ですか



■好き
■やや好き
□やややきらい
□キライ

4

中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか



■好き
■やや好き
□やややきらい
□キライ

成果と課題

スポーツが好き、やや好きと答える割合が85.4%と8割以上の生徒が好きだと答えているが、全国平均と比較するとやや低い。また、体力に自信がない生徒が全国平均よりも半数以下と大きく下回っている。スポーツは大切だと答える生徒が90.4%いるが、その一方で卒業後に自主的にスポーツの時間を持ちたいと思う生徒が60.2%と全国平均から見ても低くなっている。

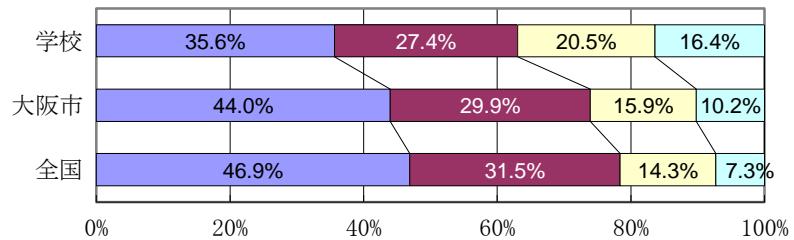
今後の取組

体力に自信がない生徒が多い反面、スポーツをすることが好きで体を動かすことが大切だと答えている生徒が多い。授業内で運動する喜びや楽しさを味わうことで、今後、運動やスポーツをしたいと思う生徒を増やしていきたい。

運動やスポーツについて（女子）

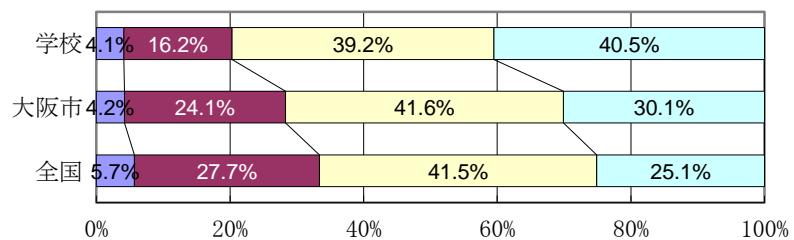
質問番号	質問事項
------	------

1 運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすること好きですか



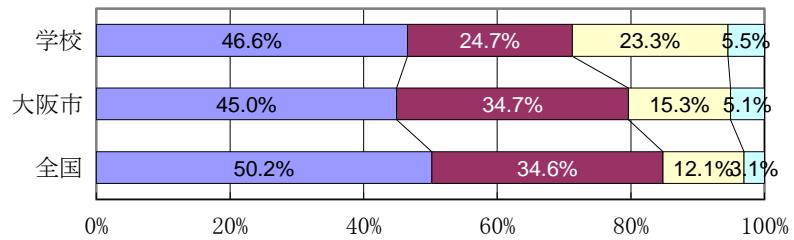
- 好き
- やや好き
- やややきらい
- きらい

2 自分の体力に自信がありますか



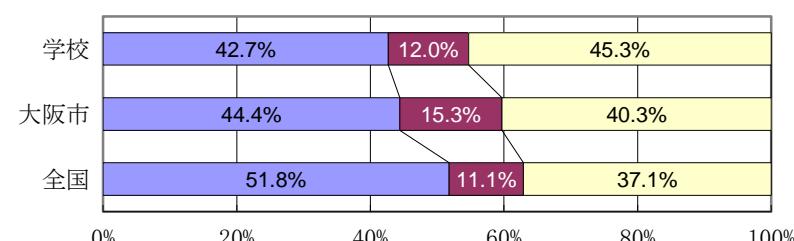
- 好き
- やや好き
- やややきらい
- きらい

3 あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切ですか



- 好き
- やや好き
- やややきらい
- きらい

4 中学校を卒業した後、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



- 好き
- やや好き
- やややきらい
- きらい

成果と課題

質問に対して全体的に全国平均を下回っている。特に運動やスポーツは好きですかという質問に対しては35.6%と全国平均の46.9%、大阪市平均の44.0%と比べておよそ10ポイント近く差が付いている。

今後の取組

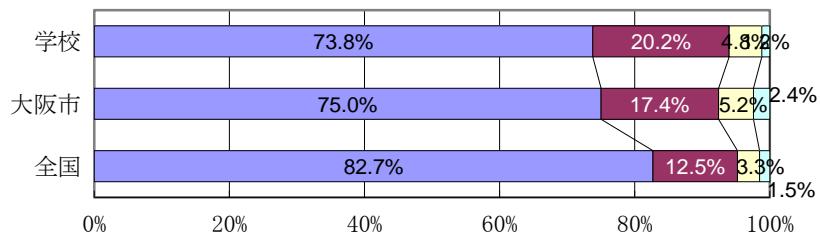
体力に自信がない生徒が多く、運動が楽しいと思う生徒も全国的に見て少ないため、授業の中で個人の目標設定や、達成感を感じられる授業内容の工夫を行っていきたい。

ふだんの生活について（男子）

質問番号	質問事項
------	------

6

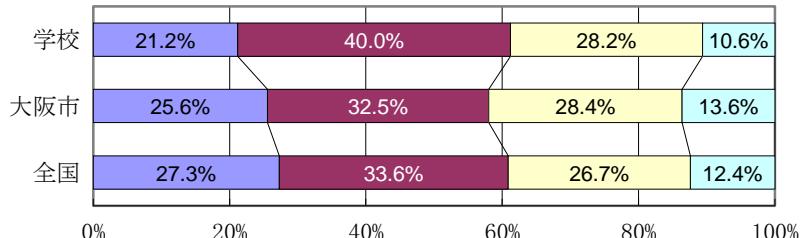
朝食は毎日食べますか(学校が休みの日も含める)



- 毎日食べる
- 食べない日もある
- 食べない日が多い
- 食べない

12

家人の人から運動やスポーツを積極的に行なうことを勧められることがありますか



- よくある
- ときどきある
- あまりない
- 全くない

13

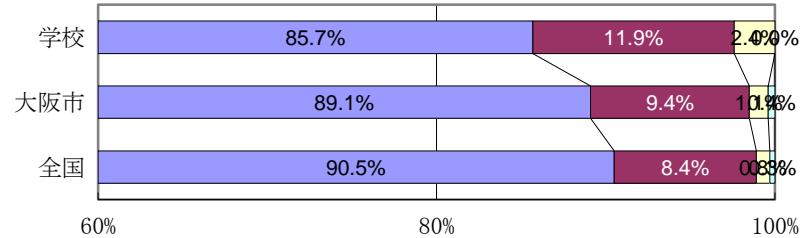
あなたが健康でいるために運動を行うことはどのくらい大切だと考えていますか。



- 大切
- やや大切
- あまり大切ではない
- 大切ではない

14

あなたが健康でいるために食事をしっかり取ることはどのくらい大切だと考えていますか。



- 大切
- やや大切
- あまり大切ではない
- 大切ではない

成果と課題

朝食を毎朝食べる生徒が全国・大阪市に比べて低く、食べてこない生徒が多い。健康のために食事が大事だと答える生徒が全体の9割以上いるが、全国・大阪市に比べると低い結果になっている。

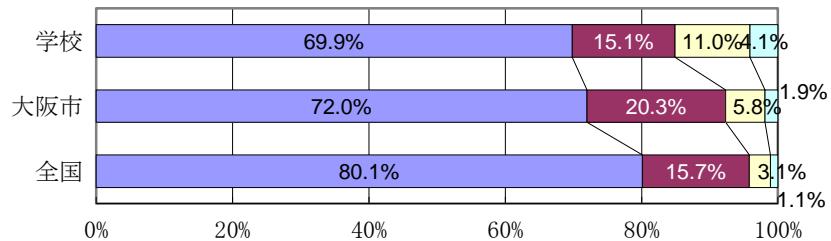
今後の取組

家庭環境が一人ひとり違うので、家庭との連携が必要になってくる。保健の授業を通して生徒自身が睡眠・食生活などの生活習慣を見直す力を付けられるように指導していきたい。

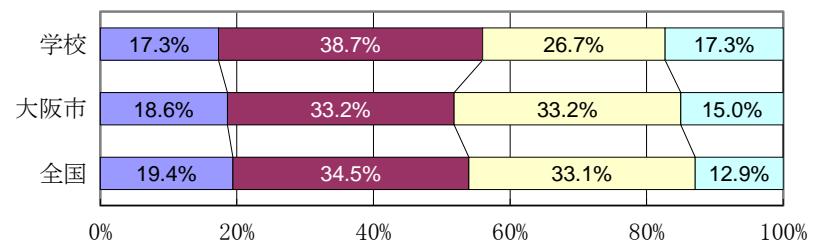
ふだんの生活について（女子）

質問番号	質問事項
------	------

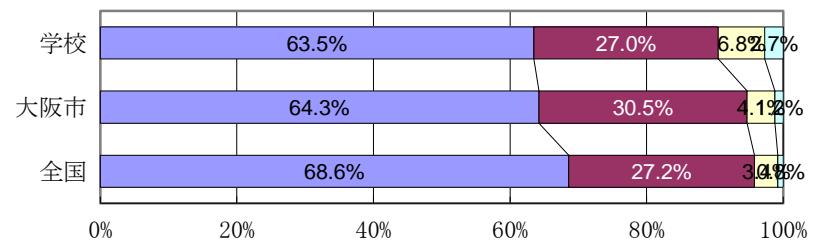
6
朝食は毎日食べますか
(学校が休みの日も含める)



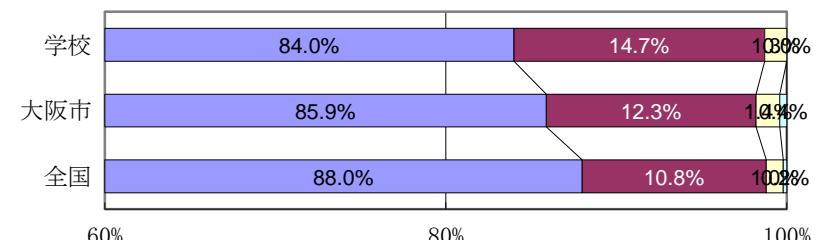
12
家人の人から運動やスポーツを積極的に行なうことを勧められることがありますか



13
あなたが健康でいるために運動を行なうことはどのくらい大切だと考えていますか。



14
あなたが健康でいるために食事をしっかり取ることはどのくらい大切だと考えていますか。



成果と課題

朝食を毎朝食べると答えた生徒が69.9%と全国・大阪市からみてかなり低い。健康のために食事をしっかりとすることは大切、やや大切だと答えていた生徒は98.7%が多い。食事をすることは大切だとわかっているが、実際は食べられていない生徒がいるのが現状である。

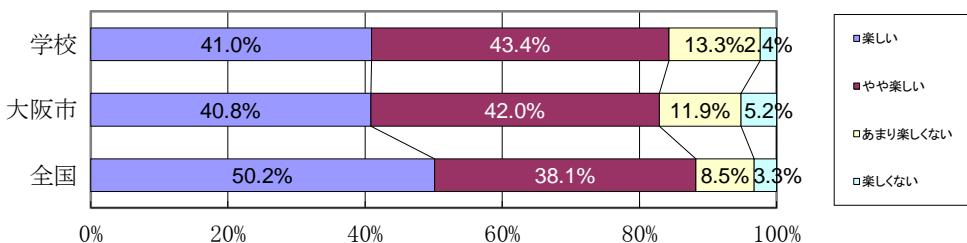
今後の取組

食事に関しては家庭と連携してしていくことが重要になってくる。保健の授業を通して、健康でいるために大切な食生活や生活習慣を見直す力をつけていきたい。

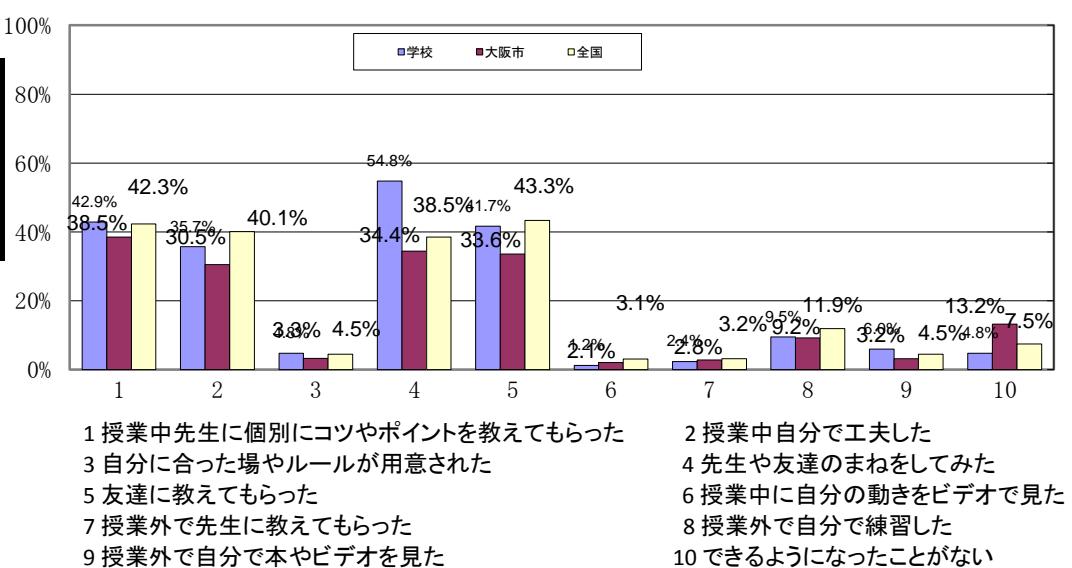
保健体育の授業について（男子）

質問番号	質問事項
------	------

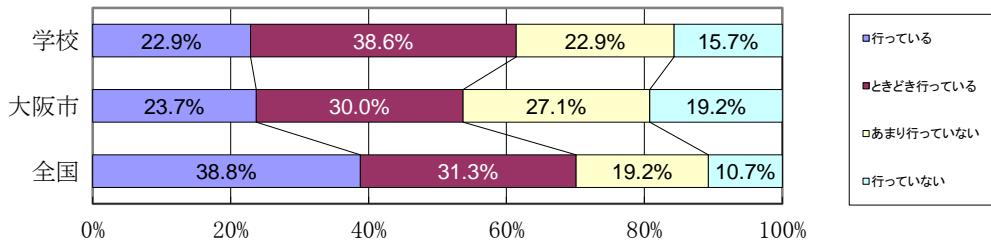
16
保健体育の授業は楽しいですか



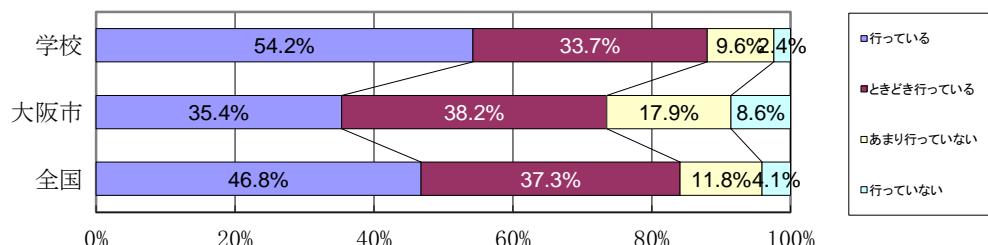
21
これまでの体育の授業で「できなかつたことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



18
ふだんの保健体育の授業では、授業の最後に今日学んだ内容をふり返る活動を行っていますか。



19
ふだんの保健体育の授業では、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますか。



成果と課題

保健体育の授業が楽しいと答えた生徒が全国平均と比べて約10ポイント程度低い。またふだんの保健体育の授業では授業の最後に振り返りを行っているかという質問では行っているが22.9%、時々行っているが38.6%と全国平均からみて低くなっている。友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っているかという質問に対しては行っているが54.2%、時々行っているが33.7%と全体の9割近くが答えている。

今後の取組

協同学習を通じて友達同士で助け合い、教えあうことが習慣づいている。また、授業を通して振り返りの時間をしっかりと取ることで運動の理解や知識を深めていき、運動が苦手な生徒の技能向上を図っていく。

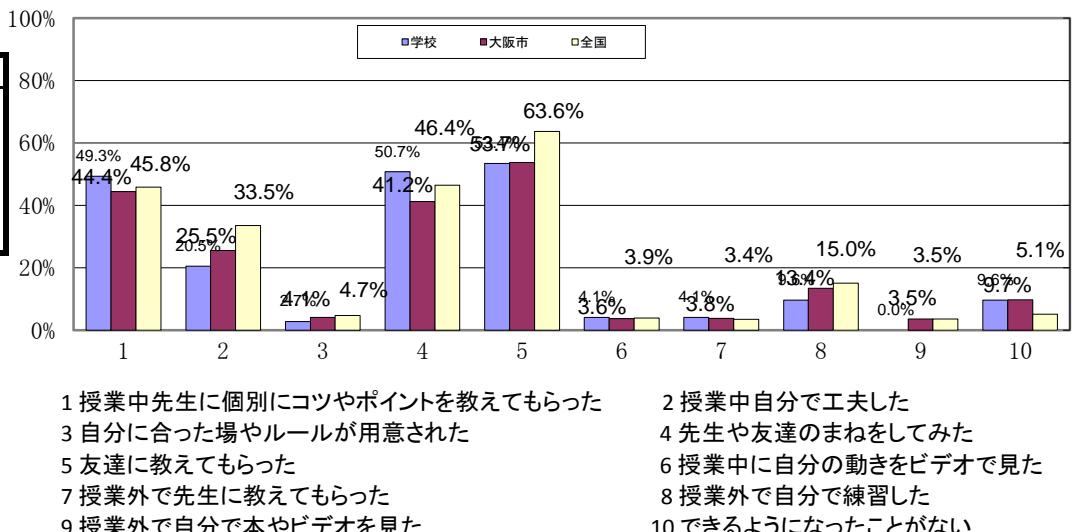
保健体育の授業について（女子）

質問番号	質問事項
------	------

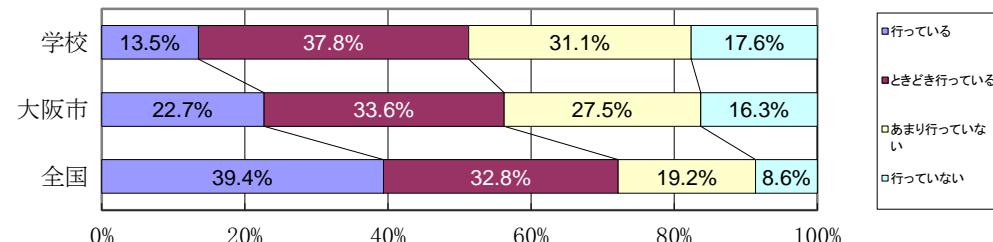
16
保健体育の授業は楽しいですか



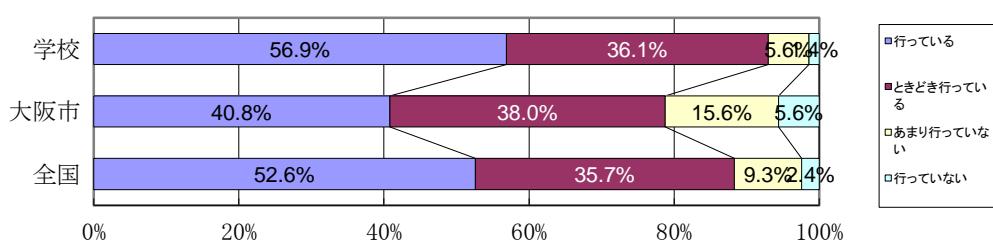
21
これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



18
ふだんの保健体育の授業では、授業の最後に今日学んだ内容をふり返る活動を行っていますか。



19
ふだんの保健体育の授業では、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますか。



成果と課題

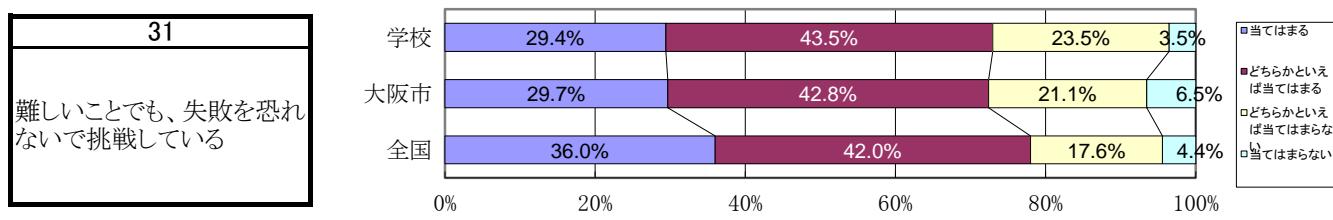
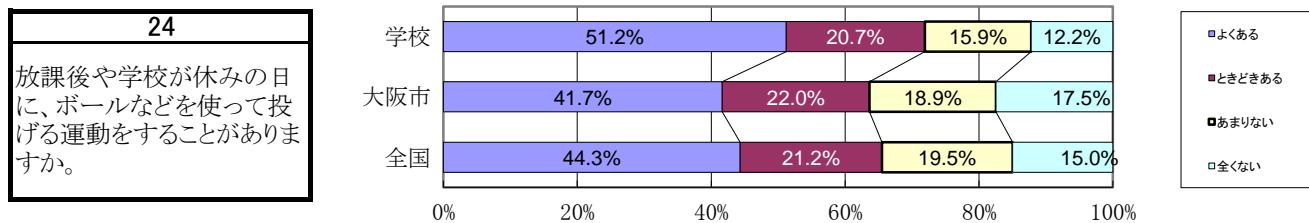
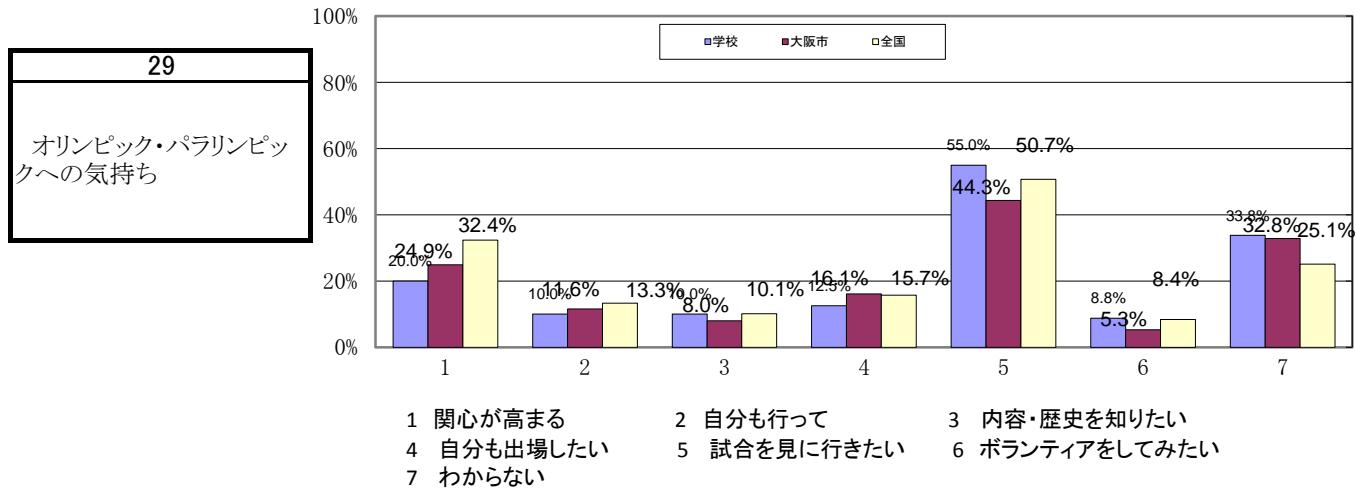
保健体育の授業が楽しいと答えた生徒が35.1%、やや楽しいと答えた生徒が40.5%と全体の75.6%が楽しいと回答しているが、全国平均より下回っている。「保健体育の授業の中で友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますか」という質問に対しては行っていると答えたのが56.9%、時々行っていると答えたのが36.1%と、全体の93%が回答し、全国・大阪市の平均を上回った結果になった。

今後の取組

友達と助け合いながら運動の技能を深めていくように、協同学習の充実を検討する。また、振り返りの時間をしっかりと取り、知識や技能をさらに深めさせていく。

その他（男子）

質問番号	質問事項
------	------



成果と課題

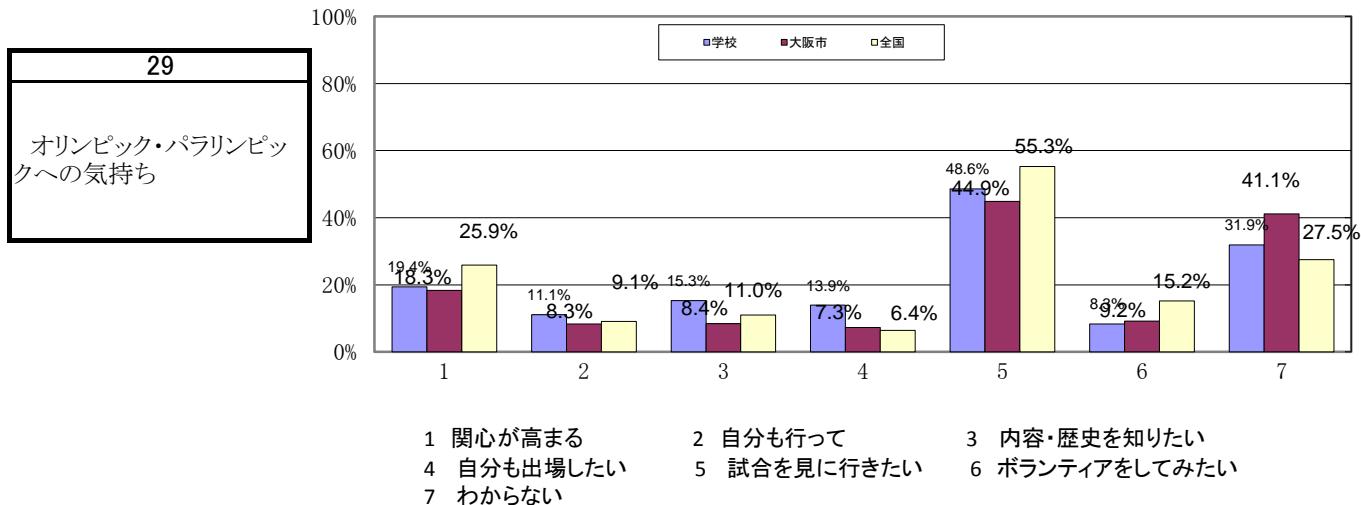
「放課後や学校が休みの日にボールなどを使って投げる運動をすることがありますか」という質問に対して、よくあるが51.2%、時々あるが20.7%と全体の70%近くを占めており全国平均と比べても、8.2ポイント高い結果になった。「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している」という質問に対しては29.4%と全国平均よりも低く、どちらかといえども43.5%を含めても全国平均よりも5.1ポイント下回っている。

今後の取組

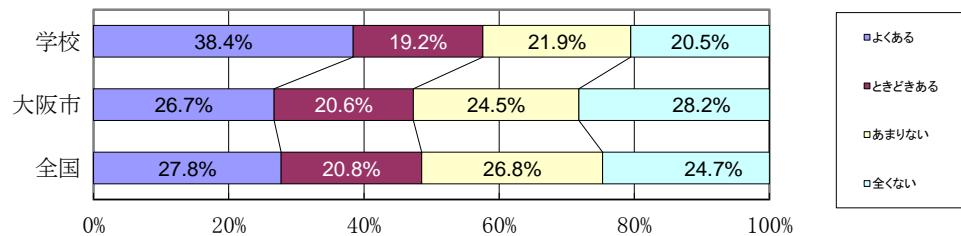
オリンピック・パラリンピックに関して情報を発信し、興味・関心を深めさせていく。休日の運動状況に関しては、高い結果が出ているものの、これを維持および向上してくためには、運動をする環境も大切になる。そのために、地域と協力し、場所や運動の機会を増やしていきたい。

その他（女子）

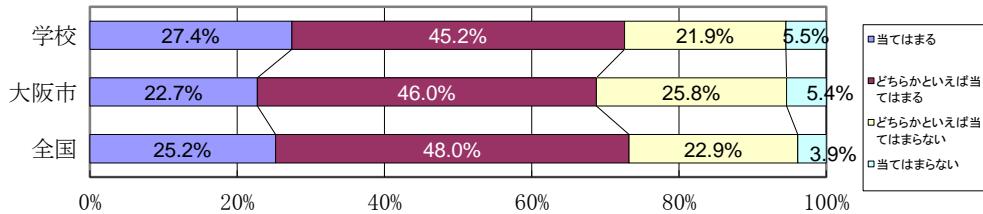
質問番号	質問事項
------	------



24 放課後や学校が休みの日に、ボールなどを使って投げる運動をすることがありますか。



31 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している



成果と課題

オリンピック・パラリンピックに関しては「試合を見に行きたい」という回答が多く関心は強まったものの、わからないと答える生徒も多かった。「放課後にボールを使って投げる運動をすることがありますか」という質問に対して38.4%と全国平均よりも10.6ポイント上回った。「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している」という質問に対しては27.4%と全国平均よりも少し上回る結果になった。

今後の取組

オリンピックやパラリンピックに関し、歴史や情報を発信し、興味・関心を持つ機会を作っていく。また、地域と協力し、運動できる場所や機会を増やしていく。